

本会議における

代表質疑・議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ31名の議員が質疑を行いました。

【インターネット録画放送】

川越市議会ホームページで
ご覧になれます。

【今定例会の会議録】

議会議事録ホームページ、
または図書館等で
5月下旬頃から閲覧できます。

等
の閲覧

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議事
事務局／情報公開窓口（東庁舎）

代表質疑

市政・教育行政方針について

【自由民主党】（公明党）【市民フォーラム】（日本共産党）
【やまぶき会】（政晴会）【無所属の会】（立憲・国民）

【問】新たな時代の節目に当たり市政運営の抱負は。

【答】新たな変革の波への対応を着実に進めるとともに、先人から引き継がれた川越の伝統を守り、全力で市政運営に取り組んでいきたい。

【問】消費税率引き上げによる市政の影響への対応は。

【答】平成31年度予算は、一般会計および特別会計における経費で消費税率引

向上を図る効果がある
と考える。

.....

【問】南古谷駅北口開設までのスケジュールを伺う。

【答】早期の北口開設に向け、JR東日本と協議を継続している。協議が整った後、基本設計および実施設計を経て整備工事となるが、新河岸駅の事例では約6カ年を要している。

【問】川越工業団地等、既存の工業団地の拡充について、市の考えは。

【答】既存工業団地の拡張は、スピーディかつ低コストにできるメリットがある。川越工業団地等の拡充について、地域住民の意見や農業施策との調整を図りながら検討を進めたい。

【問】川越線複線化に向けた地元市長としての考えは。

【答】定住者を増やす観点からも利便性向上は重要で、荒川鉄橋架け替えは複線化の絶好の機会と考える。JR東日本に積極的に働き掛けるなど、実現に向け鋭意取り組んでいく。

【問】送迎保育ステーションの導入において、現場の声をどのように考えているのか。

【答】先進地視察や、保護者等へのニーズ調査を行った。今後は、子育て世代の声や民間事業者のノウハウを取り入れていく。

【問】高齢者の生きがいにおいて何が重要だと考えているのか。

【答】地域で支え合えるまちづくりを進めていくことが、高齢者の生きがいづくりの観点から、大変重要なことである。

【問】市民サービスを向上させるために、十分な職員数を確保すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

【答】効率的に組織運営を行うっていくには、業務の効率化を図りつつ、新たな業務や行政需要が増大した部署に必要な人員配置を行い、市民サービスの向上に努める必要がある。

【問】新年度、待機児童解消が図られるのか伺う。

【答】員数確保により、平成32年度当初に解消を見込む。開創設される店舗リフォーム補助の概要を伺う。

【問】市内で小売業や飲食業などを営む小規模店舗等が、事業承継と合わせ店舗リフォームを行う場合、補助率3分の1、40万円を上限に検討している。

【問】特別支援学級の充実について伺う。

【答】小学校2校と中学校1校で新設、小学校3校と中学校2校で増設、小学校3校と中学校3校で学級数が増加する。今後も全校設置に向けて努める。

【問】学童保育室の増築等の予定を伺う。

【答】余裕教室を学童保育室に転用する改修、高階北学童のトイレ改修、大東西学童の新たなプレハブのリースを予定している。

【問】災害時のメール送信無料アプリ等の導入を伺う。

【答】災害時に被災した現場にいる市民からの通報は、情報収集の迅速化を図る上で有効であると考え

る。情報整理の在り方等の課題を含め、調査、研究していきたい。

【問】初雁球場の移転までのメンテナンスを伺う。

【答】移転を見据えると大規模な修繕は困難であるが、新たな野球場の完成まではある程度の期間が必要で、市民に安全・安心に利用してもらうため、今までと同様、必要なメンテナンスを実施していく。

【問】小学生の学力向上プログラムの見直しを伺う。

【答】各種調査結果では、国語の読解力等に課題が見られるため、授業改善に取り組み、言語活動の充実、読解力の向上に努め、その内容についてプラン改定に努めていきたい。

【問】子育てしたいまちにするために、保育施策以外で必要と考える施策は。

【答】子育てと就労の両立支援、相談体制や学習・教育環境の充実など、安心して子育てができる環境づくりに努めたい。